



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 O A Tアグリオ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4979 URL <https://www.oat-agric.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 尚  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高瀬 尋樹 TEL 03-5283-0262  
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満端数切捨て)

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	15,673	△4.2	2,002	△38.5	2,269	△33.2	1,557	△31.5
2023年12月期中間期	16,364	6.5	3,253	10.0	3,399	9.3	2,275	8.2

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 3,090百万円 (△20.4%) 2023年12月期中間期 3,884百万円 (14.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	151.34	-
2023年12月期中間期	214.94	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期中間期	38,253	17,445	42.6	1,580.19
2023年12月期	34,000	14,872	40.9	1,350.69

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 16,291百万円 2023年12月期 13,889百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	55.00	55.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	55.00	55.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,300	1.1	3,150	△16.4	3,000	△21.1	1,920	△22.8	186.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	11,072,000株	2023年12月期	11,072,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	761,894株	2023年12月期	788,582株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	10,291,163株	2023年12月期中間期	10,585,702株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間期連結会計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大等もあり、緩やかな回復基調で推移したものの、相次ぐ物価上昇や実質賃金の低迷、不安定な世界情勢の長期化や為替・金利動向等を踏まえると、今後も先行きは不透明な状況が続くと考えられます。

このような経営環境のもと、当中間期連結会計期間における売上高は156億73百万円（前年同期比6億91百万円減少、同4.2%減）、営業利益は20億2百万円（前年同期比12億51百万円減少、同38.5%減）、経常利益は22億69百万円（前年同期比11億29百万円減少、同33.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は15億57百万円（前年同期比7億17百万円減少、同31.5%減）となりました。

当社グループはアグリテクノ事業の単一セグメントであります。各分野別の経営成績につきましては以下のとおりであります。

農薬分野において、国内市場では、当社の注力しているグリーンプロダクツの殺ダニ剤「サフオイル」「アカリタッチ」、殺虫剤「トモノール」等の販売が好調に推移しました。一方で、殺虫剤「オンコル」、殺ダニ剤「ダニサラバ」等は前年同期比で減少しました。海外市場におきましては、殺菌剤「ガッテン」や「カリグリーン」が好調な売上を引き続き維持しております。また、殺虫剤「オンコル」も前年同期比で売上を増加させました。しかしながら、引き続き殺ダニ剤「ダニサラバ」の出荷時期のズレ等の影響を受け、売上高が前年同期比で減少いたしました。それらの結果、農薬分野の売上高は60億78百万円（前年同期比16億円減少、同20.8%減）となりました。

肥料・バイオスティミュラント分野において、国内市場では、流過程における過剰在庫の影響が継続しており、ハウス肥料や養液栽培用肥料等の販売が前年同期比で減少しました。海外市場におきましては、「アトニック」の販売が好調に推移しており、オランダの子会社であるBlue Wave Holding B.V.も北米および南米向けに売上を伸ばさせております。国内子会社でバイオスティミュラント製品の製造並びに肥料の製造・販売を行う旭化学工業株式会社や、ゲノム編集や遺伝子解析など植物の受託研究を行う株式会社インプラントイノベーションズも前年同期比で売上が好調に推移しております。それらの結果、肥料・バイオスティミュラント分野等の売上高は95億95百万円（前年同期比9億8百万円増加、同10.4%増）となりました。

当社グループは、2024年2月に公表した「新中期経営計画（2024-2026年）」において定めた通り、これからの3年間をグループの変革期と捉え、世界の農業とそれを取り巻く環境の抱える問題解決を我々の使命としております。環境負荷の少ない防除資材であるグリーンプロダクツの販売に注力し、更にラインナップの拡張を行ってまいります。また、近年の猛暑のように過酷な環境の中でも安定した収量を実現するためのバイオスティミュラント剤の開発・拡販にも注力しております。これらは農林水産省が『みどりの食料システム戦略』において策定した、環境に配慮しながらも食料の安定供給を実現するこれからの農業のあり方とも合致した方針であります。当社グループは引き続き、世界の農業の発展のため積極的な研究開発投資を進め、グリーンプロダクツ、バイオスティミュラント、施肥灌水技術、有機水耕栽培、スマート農業等の柱とともに、2030年のあるべき姿の具現化を目指します。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間期連結会計期間末の総資産は382億53百万円で、前連結会計年度末に比べ42億53百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加4億43百万円、売掛金の増加23億12百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億33百万円、仕掛品の増加10億27百万円、為替換算の影響によるのれんの増加1億88百万円によるものであります。

負債につきましては208億8百万円で、前連結会計年度末に比べ16億81百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加6億31百万円、支払手形及び買掛金の増加12億17百万円、未払法人税等の減少36百万円、長期借入金の増加84百万円によるものであります。

純資産は174億45百万円で、前連結会計年度末に比べ25億72百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上15億57百万円、剰余金の配当5億65百万円、為替換算調整勘定の増加13億27百万円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当中間期連結会計期間における現金及び現金同等物は40億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億54百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億54百万円の収入（前年同期は6億76百万円の収入）となりました。主な収入要因は税金等調整前中間純利益22億69百万円、減価償却費5億56百万円、のれん償却費3億66百万円、仕入債務の増加10億78百万円等によるものであります。また、主な支出要因は売上債権の増加19億68百万円、棚卸資産の増加2億54百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億80百万円の支出（前年同期は2億26百万円の支出）となりました。主な支出要因は有形固定資産の取得による支出3億27百万円、無形固定資産の取得による支出28百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、62百万円の支出（前年同期は6億42百万円の収入）となりました。主な収入要因は短期借入金の増加18億47百万円、長期借入れによる収入10億29百万円によるものであります。また、主な支出要因は長期借入金の返済による支出22億96百万円、配当金の支払額5億65百万円、リース債務の返済による支出97百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました2024年12月期の業績予想に変更ありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,056	4,499
受取手形	638	579
電子記録債権	43	35
売掛金	6,736	9,049
有価証券	—	25
商品及び製品	3,265	2,621
仕掛品	1,613	2,640
原材料及び貯蔵品	2,332	2,465
その他	1,056	1,258
貸倒引当金	△156	△130
流動資産合計	19,586	23,045
固定資産		
有形固定資産	3,979	4,281
無形固定資産		
のれん	5,915	6,103
ソフトウェア	209	194
顧客関係資産	2,694	2,818
その他	411	432
無形固定資産合計	9,230	9,549
投資その他の資産	1,204	1,376
固定資産合計	14,414	15,208
資産合計	34,000	38,253
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,189	3,407
短期借入金	9,949	10,580
未払金	617	439
未払法人税等	572	536
賞与引当金	38	38
損害賠償引当金	26	29
返金負債	166	290
その他	1,674	1,452
流動負債合計	15,233	16,773
固定負債		
長期借入金	2,355	2,439
退職給付に係る負債	233	232
繰延税金負債	948	999
その他	357	364
固定負債合計	3,893	4,035
負債合計	19,127	20,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	461	461
資本剰余金	2,425	2,417
利益剰余金	9,918	10,910
自己株式	△973	△940
株主資本合計	11,832	12,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130	180
為替換算調整勘定	1,934	3,262
退職給付に係る調整累計額	△8	△0
その他の包括利益累計額合計	2,056	3,442
非支配株主持分	983	1,153
純資産合計	14,872	17,445
負債純資産合計	34,000	38,253

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	16,364	15,673
売上原価	8,186	8,152
売上総利益	8,178	7,520
販売費及び一般管理費	4,924	5,518
営業利益	3,253	2,002
営業外収益		
受取利息	15	19
為替差益	230	298
受取配当金	3	3
持分法による投資利益	11	18
その他	11	20
営業外収益合計	271	359
営業外費用		
支払利息	95	88
その他	30	4
営業外費用合計	125	92
経常利益	3,399	2,269
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	0	—
減損損失	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	3,399	2,269
法人税、住民税及び事業税	1,139	759
法人税等調整額	△66	△99
法人税等合計	1,073	660
中間純利益	2,326	1,608
非支配株主に帰属する中間純利益	51	51
親会社株主に帰属する中間純利益	2,275	1,557



## (中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	2,326	1,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	49
為替換算調整勘定	1,515	1,422
退職給付に係る調整額	1	9
その他の包括利益合計	1,557	1,481
中間包括利益	3,884	3,090
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,735	2,942
非支配株主に係る中間包括利益	148	147

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	3,399	2,269
減価償却費	456	556
のれん償却額	327	366
減損損失	0	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△0	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△38
返金負債の増減額 (△は減少)	133	122
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△19	△23
支払利息	95	88
株式報酬費用	19	25
為替差損益 (△は益)	△85	93
受取保険金	△0	△0
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,870	△1,968
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△915	△254
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,132	1,078
その他	△125	△681
小計	1,545	1,638
利息及び配当金の受取額	14	24
利息の支払額	△101	△94
保険金の受取額	0	0
法人税等の支払額	△782	△615
営業活動によるキャッシュ・フロー	676	954
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3	△136
定期預金の払戻による収入	—	63
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	△197	△327
無形固定資産の取得による支出	△34	△28
投資有価証券の取得による支出	△0	△24
投資有価証券の売却による収入	—	48
有価証券の取得による支出	—	△24
その他	8	△151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△226	△580
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,880	1,847
長期借入金の返済による支出	△669	△2,296
長期借入れによる収入	—	1,029
リース債務の返済による支出	△83	△97
株式の発行による収入	—	41
配当金の支払額	△474	△565
非支配株主への配当金の支払額	△19	△21
その他	10	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	642	△62
現金及び現金同等物に係る換算差額	265	43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,358	354
現金及び現金同等物の期首残高	3,371	3,716
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,729	4,070

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

当社グループは、アグリテクノ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。